

柴田安彦（無党派）

東三河広域連合への参加の見直しを

問 東三河地域の広域連携に広域連合が一番ふさわしいと選択した理由は。

答 広域連合は法人格を有し、自らの権限で広域行政課題に対応することができ、国や県から幅広く権限移譲を受けられることから、この結論に達した。

問 広域連合を設立すると費用や職員の配置などかなりの事務負担がかかり、設立の負担に見合うだけのメリットが見いだせない。広域連合への不参加や特定



する事務にだけ参加するという選択肢はあるのか。

答 制度的には可能と考えられるが、東三河全域の地域力向上を目的としているため、一部の市町村による広域連合はふさわしくないと考え、今後は東三河全域が活性化するように事務の選択に努めていきたい。

日恵野佳代（無党派 日本共産党）

市民プールについて

問 25年度予算での市民プール代替案は中央小学校のプール利用とラグーナ蒲郡のプールを400円で

利用できる割引券を1枚配布するというものだった。市民の意見は聞いたのか。今後の対応はどのようなか。
答 市民から意見は聞いていない。25年度実績を検証し、今後を考えたい。

ボートレース蒲郡のリニューアル工事は

問 23年9月議会議決の当初契約は不確定な部分



ボートレース蒲郡の施設改善後のイメージ図

があり、甘い設計だったと答弁があった。チェックはどのように進めていたのか。
答 変更契約が多額になり申し訳ない。調度は高額だと認識しているのを見直し、結果を4月末までに精査して検討していきたい。

鎌田篤司（自由クラブ）

東三河広域連合の方向性について

問 広域連合議会でも蒲郡市議会の意見を反映させることは可能か。

答 広域連合議会は豊橋市5名、豊川市3名、蒲

郡市、田原市、新城市は各2名、北設3町村は各1名である。蒲郡市議会の意見も反映するよう広域連合準備会に意見を持ち上げたい。

市の公共施設の安全対策について

問 今後1200億円と言われる公共施設見直しに対する資金計画とPFI導入や機能統合の考えは。

答 今後は起債や民間資金を活用したPFIを積極的に導入するなどの幅広い検討のほか、小中学校の一貫校や学校と公民館の機能統合などを考えていく必要があると考えている。

竹内滋泰（自由クラブ）

地域の協力を得たハザードマップ作成を

問 田原市では、職員が地域に出向き、地域の協力を得てハザードマップを作成したとのことだが、蒲郡市でも取り組む考えは。

答 地域ごとのマップは、地域中心で作成しても



田原市のハザードマップ

らい、市は支援をしたい。6月以降に県から新たな被害想定が発表されたら、田原市のもも参考にし、市全体のハザードマップを作成していきたい。

障害者福祉施策について

問 市内のグループホームやケアホームの現状は。
答 25年に入り障害者グループホームが1か所完成し、市の第3期障害福祉計画にある24年度までに設置箇所数4か所、定員27人という目標を達成した。